

第871号

令和2年10月14日

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室

教室だより

〒952-1209

佐渡市千種丙178番地1

TEL:0259(63)4156(直)

4115(代)

FAX:0259(63)4117

E-mail:skotoba@sado.ed.jp

HP:<http://kanai-es.sado.ed.jp>

(教室だよりのバックナンバーも掲載中)

親として

佐渡市立羽茂小学校
校長 宮澤 達也

ずいぶん前の夏休み、息子2人と2泊3日テント泊で白馬岳に登りました。

1日目も終わり2日目。頂上を目指していると一組の親子が降りてきました。3、4歳くらいの男児、女児と両親です。小さい子が登ってるんだと感心すると同時に、嫌がる小さい子を無理やり連れてきたんだろうと批判する心も片隅にありました。

午後、頂上から戻ってみると、先ほどの親子に会いました。同じテント泊をしていたのです。子どもたちの様子をよく見てみると、男の子は歩き方がぎこちなく足に障がいをもっているようでした。その時です。「遊んでないで、ちゃんと仕事しなさい!」と注意するお父さんの声がしました。

社会に出れば障がいをもつ者も様々な試練にぶつかる。俺はいつまでもお前の側にいない。乗り越えるのは自分の力だけだ。自分が動かないと幸せにはなれない…と、お父さんは山登りを通して教えたかったのではと思いました。そう思うと目頭が熱くなりました。

親として何をすべきなのか考えさせられた山旅でした。



子どもたちの想い

Aさんに「校外学習楽しみだね。」と話をする、「楽しみじゃない。」と、意外な答えが返ってきました。「振り返りが書けない。見た場所の名前を忘れるから。」と教えてくれました。大半の子は楽しみなことでも、ある子にとっては、支援を必要としているのだと感じました。

Bさんは、集団では声を出すことが苦手ですが、一対一では、音読を進んでしてくれます。「『わたしと小鳥とすずと』を聞かせて。」とお願いすると、首を横に振り、他の教材文をはきはきと読みました。

「こっちをたくさん練習したから読んでくれたの?」と聞くと、「こっち(詩)は『わたしが』が多くて『自分みたい』だから。」と答えました。想像もしなかった返答ですが、Bさんの気持ちが分かりました。

私たちは、子どもの様子から困り感を探ることがありますが、子どもとの会話から、全く別の原因があることが分かります。本当の子どもの想いを大事にすることが子どもとのかかわりの大前提なのだと思いました。(椿)



親の会コーナー



「高校にも通級指導教室を」要望書提出

9月15日(火)に、集まった「佐渡の県立高等学校に通級指導教室の設置を求める要望書」の署名とアンケート結果の集約を佐渡市教育委員会に提出いたしました。親の会を代表し、高橋美由紀会長から、学校教育課長濱田晴明様に手渡されました。要望書708枚、署名2,543名分です。これから佐渡市教育委員会より、新潟県教育委員会に提出されます。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。



学習会の中止のお知らせ

今年度、親の会で計画しておりました、11月14日(土)の学習会ですが、昨今の新型コロナウイルス禍に伴い、中止とさせていただきます。大変申し訳ありません。

それに代わる活動として、「高校にも通級指導教室を」の活動で行ったアンケートの結果報告をさせていただきたいと思っております。親の会会員の皆様やご協力いただいた方々に、12月頃より順次お届けする予定です。



ことば・こころ応援団



今月のことば・こころ応援団は、黒川 健様(元親の会副会長、現佐渡市立松ヶ崎小学校長)です。

黒川様はとても明るく、楽しい方です。気さくな人柄で、いつも周りを楽しませようとしてくださいます。

今回、応援団のお願いをすると、快く引き受けてくださいました。あたたかい気持ちになる素敵な文をお寄せいただきました。

忘れられない優しさ

元親の会
副会長 黒川 健

小さいころ、息子は新潟の病院帰りに必ずマックに行きたがりました。お気に入りにはミルク用のストロー。持ち帰り用に少し多めにいただいたり、家でも洗って使ったりしていました。ところがある日、お気に入りのストローがリニューアルされていました。自閉傾向特有のこだわりの強さから、お気に入りの以前のストローが忘れられず「マックの前のストローは？」と毎日繰り返していました。

万代シティーのマックに電話で事情を話し「以前のストローの在庫があれば何本か分けてほしいのですが…」とお願いしました。店長さんは「調べてお電話します。」と答えてくれました。しばらくして「ありませんでしたが、他の店舗も当たってみますので住所を教えてください。」と電話がありました。

数日後、お気に入りのストローが500本も送られてきました。子供の困り感に寄り添ってくれた店長さんの優しさは、今でも忘れられません。

